



いらっしゃ〜い！豊中市へ！



平成31年度全国公立文化施設協会定時総会・研究大会が、大阪府の中核市・ベッドタウン豊中市で開催されることとなり、大変光栄に思っております。

豊中市とは？

大阪都市圏の中でも早くから郊外住宅地として発展してきたまち。伝統や歴史と調和しながら時代の移り変わりとともに快適な住宅都市、質の高い教育文化都市として着実な歩みを重ねてきました。

豊中市は「音楽あふれるまち」にふさわしく二つのオーケストラ、日本センチュリー交響楽団と大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が存在します。市内のお寺や教会などを会場に日本センチュリー交響楽団が奏でる「豊中まちなかクラシック」など、豊中の秋は華やかな音楽に彩られます。また大阪大学と大阪音楽大学は、連携教育のための包括協定を結び「大学のあるまち」として、身近に質の高い企画展や講座に参加できる機会を設けています。

平成27年にその功績が認められ文化庁長官表彰の「文化芸術創造都市部門」で豊中市は被表彰都市となりました。さらに山田洋次監督、西村由紀江、松本孝弘(B'z)、真矢ミキ、クラシック界ではソプラノ歌手の幸田浩子、ヴァイオリニストの小栗まち絵、神尾真由子、と多彩な人材を輩出してきた土地柄でもあります。

スポーツでも高校野球・高校ラグビー・高校アメリカンフットボールの発祥の地としてまち全体で力を入れてきた歴史があります。

また立地条件としても、大阪国際空港やJR新大阪駅へのアクセスが非常に便利です。



豊中市立文化芸術センターとは？

平成29年1月にグランドオープンした、大ホール(定員1,344名)、小ホール(定員202名)、多目的室(定員160名)、展示室(定員213名)、ミーティングルーム3部屋、練習室3部屋とスタジオを有するホールです。オープンからどの施設も非常に高い利用率で市民にも大いにご利用いただいております。

建物自体も非常に高い評価を受けており、コンクリートブロックを鉄筋で補強する鉄筋コンクリート組積造(RM造)が採用されており、大規模なRM造の建造物としては世界初のものとなります。昨年は「平成29年日本建築士会連合会」にて優秀賞、本年は「第62回大阪建築コンクール」にて優秀賞受賞、と建築業界からも注目される建物です。ホールB1Fの壁面に飾られている「マチカネワニの化石と骨組み」のレプリカは、昭和39年に大阪大学豊中キャンパスの工事現場から発見された骨の化石から全長7メートルのワニと判明し、地名の「待兼山町」から「マチカネワニ」と名付けられ、また豊中市のキャラクターの「マチカネくん」として市民に親しまれています。

大阪駅(阪急梅田駅)から15分、阪急曽根駅から徒歩5分という絶好の立地条件にあります当館に是非ともお越しくださいます様、スタッフ一同心からお待ちしております。

公益社団法人 全国公立文化施設協会 大阪・豊中大会

平成31年6月6日(木)・7日(金)

〈会場〉豊中市立文化芸術センター(豊中市曽根東町3-7-2)